

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成27年10月1日(2015.10.1)

【公開番号】特開2013-54031(P2013-54031A)
 【公開日】平成25年3月21日(2013.3.21)
 【年通号数】公開・登録公報2013-014
 【出願番号】特願2012-186123(P2012-186123)
 【国際特許分類】

G 0 1 R 31/34 (2006.01)

G 0 1 R 31/12 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 R 31/34 D

G 0 1 R 31/12 A

【手続補正書】
 【提出日】平成27年8月17日(2015.8.17)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

励磁機回路であって、
 回転界磁巻線の組と、
 前記励磁機回路に電力を供給する直流(DC)励磁機と、
 前記回転界磁巻線の組に電力を供給し、複数のブラシとコレクタ・リングとを含むコレクタ・アセンブリと、
 前記励磁機回路内のコレクタ・アセンブリでの潜在的なアーク放電事象に関連するエネルギーに対応する高周波(RF)信号を測定する複数の高周波変流器(RFCT)を含むシャフト電圧サプレッサ(SVS)と、を含む励磁機回路と、
 前記複数のRFCTから測定値を受信し、前記測定値を処理して前記RF信号の電力を信号周波数の関数として決定し、前記回路の調子を少なくとも部分的に前記RF信号の前記決定された電力に基づいて評価するプロセッサと、を含む発電機。

【請求項 2】
 前記RF信号は、前記コレクタ・アセンブリの前記複数のブラシと前記コレクタ・リングとの間のアーク放電事象に対応する請求項 1 に記載の発電機。

【請求項 3】
 前記プロセッサは、アラームを出すこと、前記発電機の保守を要求すること、前記発電機内の将来のフラッシュオーバー事象を予測すること、またはそれらの任意の組み合わせを、少なくとも部分的に前記回路の前記調子の前記評価に基づいて行なう請求項 1 または 2 に記載の発電機。

【請求項 4】
 前記回路の前記調子を評価することは、前記関数の 1 または複数の特徴を 1 または複数の基線値と比較することを含む請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の発電機。

【請求項 5】
 前記 1 または複数の特徴は、極大RF信号電力、周波数範囲での平均RF信号電力、前記周波数範囲でのRF信号電力の積分、またはそれらの任意の組み合わせを含む請求項 4 に記載の発電機。

【請求項 6】

複数の固定ブラシと、複数の回転可能なスリップ・リングとを備えるコレクタ・アセンブリをモニタリングする装置であって、

前記コレクタ・アセンブリの前記複数の回転可能なスリップ・リングと前記複数の固定ブラシの間のインタフェースでの潜在的なアーク放電事象に関連するエネルギーに対応する高周波（R F）信号を測定する 1 以上の高周波変流器（R F C T）と、

前記 1 以上の R F C T から測定値を受信し、少なくとも前記測定値に基づいて前記コレクタ・アセンブリの調子値を決定するプロセッサと、を含む装置。